

# 令和5年度 学力向上を図るための全体計画

おおさわ学園三鷹市立大沢台小学校

**関係法規・市教委教育目標**  
 日本国憲法/教育基本法/学校教育法/学習指導要領/  
 東京都教育委員会の教育目標  
 三鷹市教育委員会の教育目標  
 豊かな心を持ち、心身ともに健康で、たくましく生きる「人間力」と「社会力」を兼ね備えた児童・生徒の育成

**学校の教育目標**  
**夢・学び・心**  
 ー生き生き すこやかにー

**児童の実態、期待される児童像**  
 【児童の実態】素直で明るい、すすんで学習や運動に取り組んでいる。基礎・基本の定着が不十分な面がある。  
 【期待される児童像】確かな学力や体力を身に付けている児童、豊かな心をもった児童。

## 学力向上に関わる学校経営方針

- ◎一人一台の学習用タブレット等の活用を工夫し、子どもの自ら学ぶ意欲を高め、一人ひとりに最も適した学び、探究的な学び、協働的な学びを推進する。
- ◎地域人財や施設等を積極的に活用し、「学び」の質の向上を図る。
- ◎教職員が日々研さんに励み、自らの指導力・授業力を向上させる。
- ◎体力向上・健康増進を目指した全校の取組、保健・体育授業を充実させる。

## 本校が目指す「確かな学力」

### 学びに向かう力、人間性等

- ・三鷹『学び』のスタンダード(学校版)を活用し、主体的に学ぶ態度を育成する。
- ・三鷹『学び』のスタンダード(家庭版)を基にした「家庭学習の手引き」を活用し、家庭と連携し、家庭学習の充実を図る
- ・体験的な活動を重視し、学習への関心・意欲を喚起する。

### 知識及び技能

- ・「三鷹市小・中一貫カリキュラム」に基づいた指導を徹底する。
- ・「おおさわ学園小・中一貫カリキュラム」を活用しながら、義務教育9年間の連続性と系統性のある学習を充実させる。
- ・ICTの積極的な活用により指導方法、指導体制の工夫改善を通じた協働型・双方向型の学習を推進し、児童に分かりやすい授業を実現する。

### 思考力、判断力、表現力等

- ・学習用タブレット端末を効果的に活用しながら、主体的・対話的で深い学びができる学習活動を取り入れた指導を行い、協働的な学びを図る。
- ・体験的な活動や問題解決型の学習を行う。
- ・主体的に学び、資料を読み解き、自ら課題解決する能力や態度を身に付けさせる。
- ・重層活動を充実させ、表現する能力や態度を身に付けさせる。

**教科指導の重点**  
 ○「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習用タブレット端末を有効活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現を図る。  
 ○1年生からの算数科の習熟度別少人数指導を行う。30マス計算を行ったり、思考ツールや数直線を活用したりしながら、基礎・基本の定着、応用力を養う。  
 ○体験的な活動や問題解決型の学習を行い、思考力、判断力、表現力を養うとともに、「三鷹『学び』のスタンダード」(学校版)を活用し、主体的に学ぶ態度を育成する。

**道徳教育の指導の重点**  
 ○人の立場や気持ちを理解し、温かく接していこうとする心を育てる。  
 ○決まりを守り協力し合いよりよい校風をつくろうとする心を育てる。  
 ○自分を大切にしようとする心を育てる。  
 ○自然や物を大切に、愛情をもてる心を育てる。

**総合的な学習の時間で身に付ける「学力」の重点**  
 ○地域の人や自然とふれ合う活動を通して地域社会との交流を深め、地域から学び、「おおさわ」を愛する心を育てる。  
 ○おおさわ学園小・中一貫カリキュラムを活用し、教科等との関連を明確にしながらかommunication能力、表現力の育成を図る。  
 ○小・小の連携、小・中の連携のもとに地域学習を推進する。

**特別活動の指導の重点**  
 ○自主的、実践的な取組を通して、よりよい人間関係を築く。  
 ○学校や学級における生活上の諸問題を話し合い、役割を分担して活動する力を身に付けさせる。  
 ○自己の理解を深め、自己のよさや可能性を生かして、自己の生活の課題をよりよく改善させる。

## 進路指導の重点

○キャリア・パスポートを活用し、キャリア・アントレプレナーシップ教育を通して、望ましい勤労観・職業観を育てる。また、地域人財を有効活用することを通して、おおさわ学園小・中一貫カリキュラムに基づいたキャリア教育を行い、将来の社会的自立・職業的自立の基盤となる資質や能力を育てる。  
 ○地域の特性・課題を分析し、児童一人ひとりの能力・特性、興味・関心に基づいた指導を組織的に行う体制を整え、児童の望ましい勤労観・職業観を育てる。

## 生活指導の重点

○学校生活全体を通して、児童の情報を全体で共有し、組織的な生活指導を行う。  
 ○定期的な児童の個別面談の実施する。いじめの未然防止、早期発見をし組織的に対応し、早期解決を図る。  
 ○「おおさわ学園9年間の生活のきまり」の5点(あじみわたた)を重点とし、指導の充実を図る。  
 ○定期的な校内支援委員会の実施。児童一人ひとりの実態や課題を見極め、それぞれのニーズに応じた指導と支援を充実させる。

## 本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研修・研究の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの推進 ○教科担任制による指導の充実 ○東京ペーシック・ドリルの活用 ○数直線などの思考ツールの活用 ○授業中に自分の考えを述べたり、他者の発言を集中して聞いたりする場面や、自分で考えたり調べたりしたことを文章にまとめる活動を適宜行う。※1	○各教科での学園版カリキュラムの活用を通し、より効果的なカリキュラムマネジメントを実施 ○放課後、夏季休業中の補充学習の実施 ○3年生以上の教科担任制を実施 ○算数での少人数習熟度別指導の実施	○OJTの推進 ○年間計画に位置付けた校内研修の充実 ○地域人財・資源を活用した学習の工夫についての分科会(低・中・高・わかば)ごとの研究、校内研究授業、報告会等の実施 ※1	○評価規準の検証、見直しと改善 ○指導と評価の一体化 ○児童の自己評価(振り返り)の活用	○コミュニティ・スクールを基盤とした地域社会の協働 ○学習サポート隊、みたか地域未来塾の活用 ○家庭学習として、自分の苦手な学習に取り組んだり、授業の予習をしたり、興味のあることを調べる自主学習を行ったりする。みたか地域未来塾を活用する。 ※1

※1 「三鷹『学び』のスタンダード」(学校版、家庭版)に基づく視点





